

# 決算説明資料

2026年12月期 第2四半期（中間期）

（2026年1月1日～2026年6月30日）

---



2026年8月7日



倉元製作所 5216

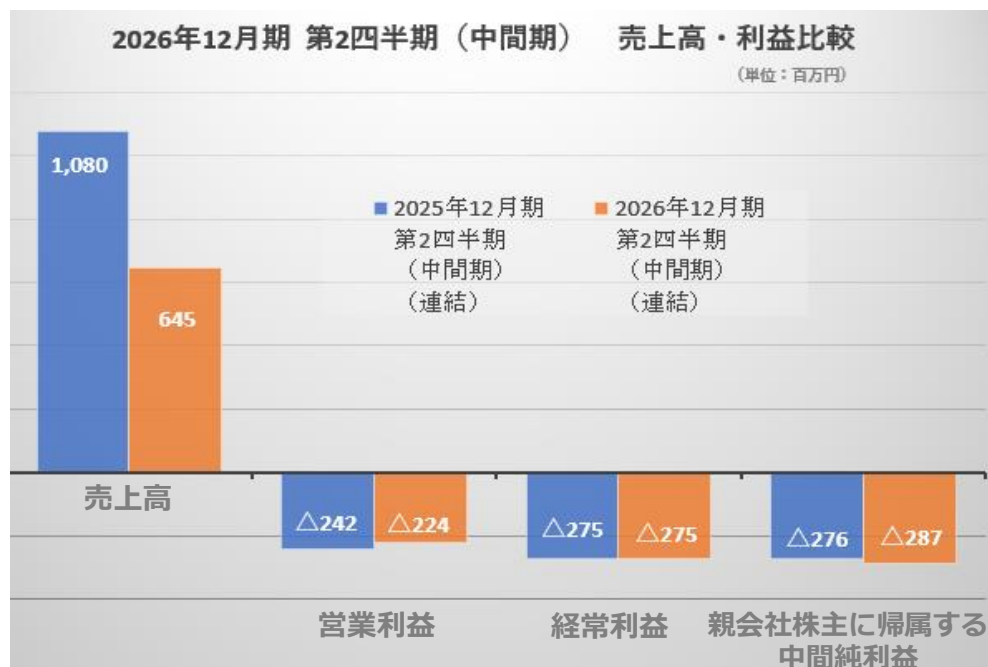


株式会社倉元製作所  
**KURAMOTO**

金額単位：百万円

|                       | 2025年12月期<br>第2四半期<br>(中間期)<br>(連結) | 2026年12月期<br>第2四半期<br>(中間期)<br>(連結) | 前年<br>同期比 | 前年同期比<br>増減率 |
|-----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-----------|--------------|
| 売上高                   | 1,080                               | 645                                 | △435      | △40.3%       |
| ① 営業利益                | △242                                | △224                                | 18        | -            |
| ② 経常利益                | △275                                | △275                                | 0         | -            |
| ③ 親会社株主に帰属する<br>中間純利益 | △276                                | △287                                | △11       | -            |
| EBITDA *1             | △21                                 | △109                                | △88       | -            |

\*1 EBITDA (営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額)



IWR：子会社アイウイズロボティクス社

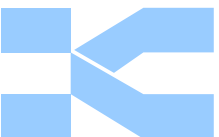
## ◆ 売上高

当中間期の売上高は、前年同期比40.3%減の645百万円となりました。

これは、IWRが展開するロボット事業において、小型清掃ロボットの一部分品質問題およびロボット運用上のトラブル発生により、新たな受注および納品が遅延したこと、及び半導体加工事業において受注済み量産案件の一部が顧客側の都合によりキャンセルとなったこと等が主な要因です。上記品質問題については、現在、原因究明及び改善対応を進めております。

## ◆ 損益の状況

- ① 営業損失は、ロボット事業及び半導体加工事業の減収の影響により、224百万円となりました。
- ② 経常損失は、遊休固定資産費用17百万円、支払利息23百万円等を営業外費用として計上したことにより、275百万円となりました。
- ③ 親会社株主に帰属する中間純損失は、法人税等14百万円を計上したこと等により、287百万円となりました。



セグメント別 売上高・利益

金額単位：百万円

|            | 報告セグメント |                         |             |               |          | その他<br>*2 | 共通費<br>*3<br>調整額 | 連結財務<br>諸表計上額 |
|------------|---------|-------------------------|-------------|---------------|----------|-----------|------------------|---------------|
|            | 基板事業    | 半導体<br>加工事業<br>(石英・SiC) | 不動産<br>賃貸事業 | ロボット<br>事業 *1 | 計        |           |                  |               |
| 売上高        | 360     | 47                      | 55          | 146           | 609      | 37        | -1               | 645           |
| (前年同期比)    | (13.3%) | (△72.3%)                | (24.3%)     | (△72.2%)      | (△42.6%) |           |                  |               |
| セグメント利益 *4 | 47      | △7                      | 45          | △206          | △120     | 8         | △111             | △224          |
| (売上高利益率)   | (13.1%) | (△14.9%)                | (81.8%)     | (△141.1%)     | (△19.7%) |           |                  |               |

\*1 ロボット事業は、子会社で展開しており、2024年11月から子会社（アイウイズロボティクス社）を連結しております。

\*2 その他は、Lark事業及び派遣事業であります。

\*3 共通費は、各セグメントに帰属しない全社費用です。

\*4 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



<セグメント別 売上高・利益>

- ◆ 基板事業（研磨研削）の売上高は、前年同期の318百万円から、既存顧客からの受注が増加し、当中間期は360百万円と増収、セグメント利益も前年同期43百万円から当中間期は47百万円と増益となりました。
- ◆ 半導体加工事業の売上高は、前年同期の173百万円から当中間期は47百万円と減収。セグメント損失も前年同期△6百万円から当中間期は△7百万円となりました。これは、石英加工事業の受注の一部がキャンセルになったことによります。
- ◆ 不動産賃貸事業の売上高は、前年同期44百万円から当四半期は55百万円と増収。セグメント利益も前年同期33百万円から当四半期は45百万円と増益となりました。これは、花泉工場のフリーレント期間終了による賃貸収入増によるものです。
- ◆ ロボット事業は、前年同期売上高526百万円から当中間期は146百万円と大幅減収（減収要因は、前頁参照）。セグメント損失は、前年同期の183百万円から当中間期は206百万円となり、23百万円拡大しました。
- ◆ 調整額（全社費用等）111百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等です。

# 財務状況の実績推移 2024年～2026年第2四半期

4

【貸借対照表（要約）】

単位：百万円

|                 | 2024年<br>12月期末<br>連結 | 2025年<br>12月期末<br>(連結) | 2026年<br>12月期<br>第2四半期末<br>(連結) |
|-----------------|----------------------|------------------------|---------------------------------|
| <b>資産の部</b>     |                      |                        |                                 |
| <b>流動資産</b>     | <b>1,358</b>         | <b>544</b>             | <b>671</b>                      |
| 現金預金            | 639                  | 97                     | 218                             |
| 受取手形及び売掛金       | 466                  | 151                    | 122                             |
| 商品、製品及び原材料      | 158                  | 202                    | 191                             |
| 短期貸付金           |                      | 30                     | 5                               |
| その他             | 92                   | 64                     | 136                             |
| <b>固定資産</b>     | <b>3,297</b>         | <b>1,275</b>           | <b>1,223</b>                    |
| 有形固定資産          | 1,343                | 1,165                  | 1,130                           |
| 無形固定資産（のれん他）    | 1,939                | 88                     | 79                              |
| 投資その他の資産        | 14                   | 21                     | 13                              |
| <b>資産合計</b>     | <b>4,655</b>         | <b>1,820</b>           | <b>1,895</b>                    |
| <b>負債・純資産の部</b> |                      |                        |                                 |
| <b>流動負債</b>     | <b>683</b>           | <b>728</b>             | <b>581</b>                      |
| 支払手形及び買掛金       | 73                   | 52                     | 44                              |
| 短期借入金           | 359                  | 426                    | 215                             |
| その他             | 251                  | 249                    | 322                             |
| <b>固定負債</b>     | <b>229</b>           | <b>354</b>             | <b>309</b>                      |
| 長期借入金           | 164                  | 233                    | 197                             |
| その他             | 64                   | 121                    | 112                             |
| <b>負債合計</b>     | <b>912</b>           | <b>1,083</b>           | <b>890</b>                      |
| <b>純資産</b>      | <b>3,742</b>         | <b>736</b>             | <b>1,004</b>                    |
| <b>負債・純資産合計</b> | <b>4,655</b>         | <b>1,820</b>           | <b>1,895</b>                    |

IWR：子会社アイウイズロボティクス社

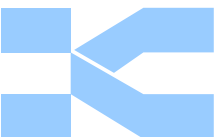
## ＜貸借対照表（連結） 2026年第2四半期末＞

◆ 総資産1,895百万円。主な内訳は、流動資産は、現金及び預金218百万円、受取手形及び売掛金 122百万円、棚卸資産191百万円。有形固定資産は、土地534百万円、建物及び構築物218百万円等。無形固定資産は、ソフトウェア等を中心に79百万円となりました。

◆ 負債合計は、890百万円。主な内訳は、支払手形及び買掛金44百万円、短期借入金215百万円、長期借入金197百万円。長期及び短期借入金はすべて、IWRが運転資金として借り入れたものです。

◆ 純資産は、親会社株主に帰属する中間純損失287百万円を計上した一方、第5回及び第9回新株予約権の一部行使並びに2026年4月の第三者割当増資等により、前期末比267百万円増加し、1,004百万円となりました。

※なお、2026年7月1日にXL PIPE I LPFを割当先とする第三者割当増資により、400百万円の払込みを受けております。当該金額は、2026年6月30日現在の貸借対照表及び次頁のグラフには含まれておりません。

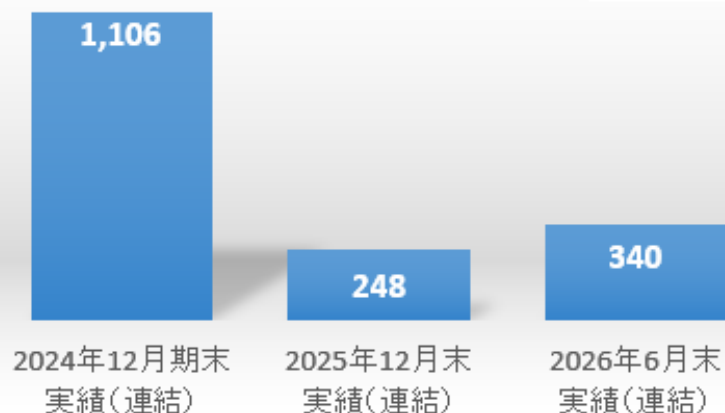


# 財務状況の実績推移 2024年～2026年第2四半期

5

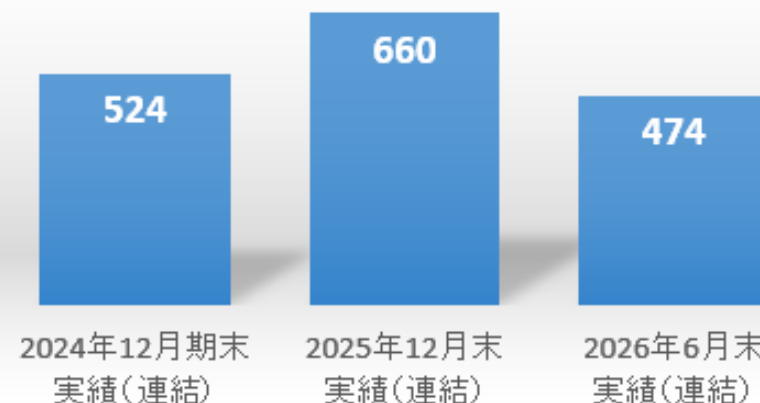
## 手元現預金・売掛債権残高

(単位:百万円)

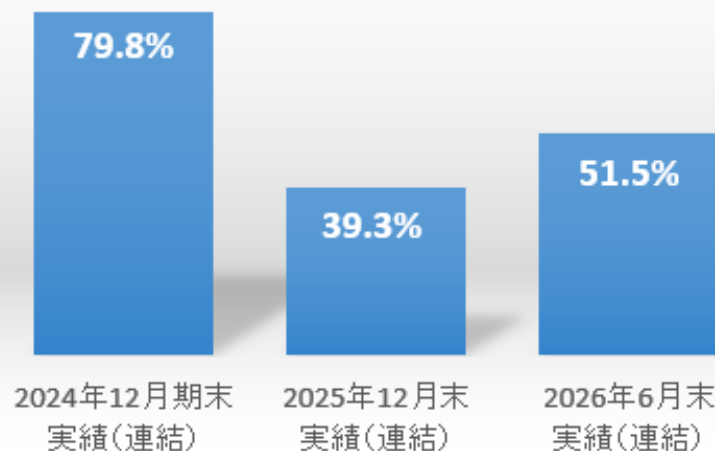


## 有利子負債残高

(単位:百万円)

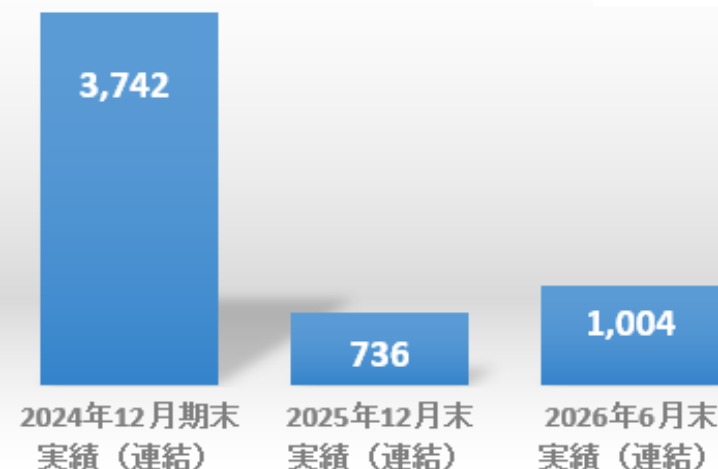


## 自己資本比率



## 純資産

(単位:百万円)



# CREATING THE FUTURE

ビジネスを  
通じて

半歩先行く技術と商品力で未来を創る

ビジョン  
目指すところ

世界の最先端技術を取り入れ  
日本のモノづくりの原点に回帰し、ヒト・モノ・カネの  
良い循環を生み出し、未来に向けて進化する

組織の理念

全社員が  
情熱を持って

全社一丸となれる  
組織の仕組を持つ

モノづくりの  
プロ集団